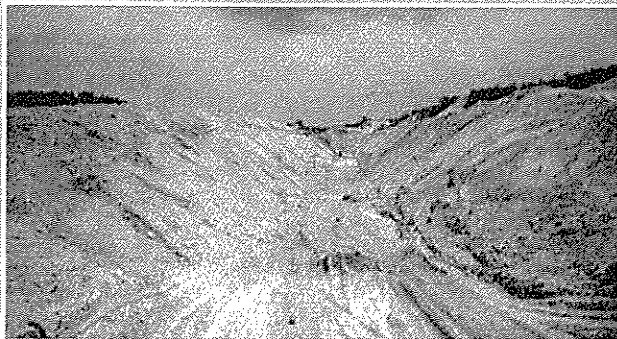
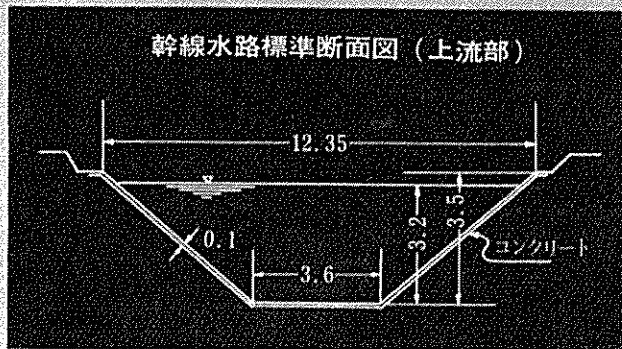


幹線水路試験工事



幹線水路の試験工事が愛知県長久手村北新田で行われた。延長112kmの幹線水路は、掘削からコンクリート・ライニングまで、すべてを機械化施工する計画なので、この試験工事には色々の期待がかけられた。その



結果、なかんづく施工速度と工費面で多くの成果を取めえたが、このテストでも前号に紹介したスロープ・フォームが使用された。その掘削からコンクリート巻立までの施工状況をひろってみよう。



スロープ・フォームの搬付



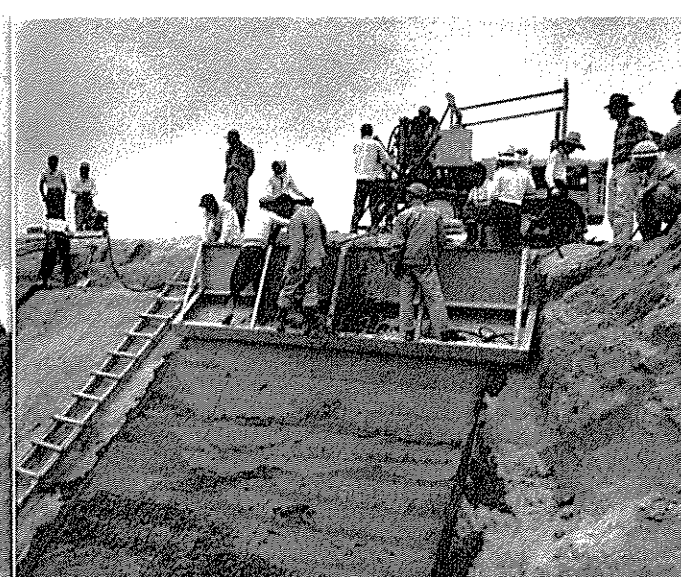
移動ミキサーからコンクリート投入



グレードールで表土剥取



大体設計断面に掘削



フォームを移動させつつ打設



打設おわって面の仕上げ



24 運土に活躍するスクレーパー



グレードールで法面の仕上げ



スランプ・テストも現場で行う



テスト工事全景(コンクリート面はビニール溶液を吹付け養生中)